

**製品名:** リン酸化ヒストン H3(S10)ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe84143

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	15 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	Phospho-HistoneH3(S10)
別名	Histone H3.1, Histone H3, HIST1H3A;;p-Histone H3 (S11)
遺伝子 ID	
SwissProt ID	P68431
免疫原	ヒトヒストン H3.1 の S11 リン酸化部位周辺から合成したペプチド

**背景**

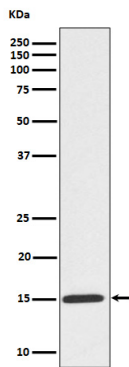
ヌクレオソームの中核構成要素。ヌクレオソームは DNA をクロマチンに包み込み、DNA を鋳型として利用する細胞機構への DNA の

アクセスを制限します。そのため、ヒストンは転写制御、DNA 修復、DNA 複製、そして染色体の安定性において中心的な役割を果たします。DNA へのアクセスは、ヒストンの複雑な翻訳後修飾（ヒストンコードとも呼ばれます）とヌクレオソームリモデリングによって制御されています。

## 研究分野

-

## 画像データ



コルセמיד処理した HeLa 細胞溶解物におけるリン酸化ヒストン H3 (S10) 発現のウェスタンブロット分析。